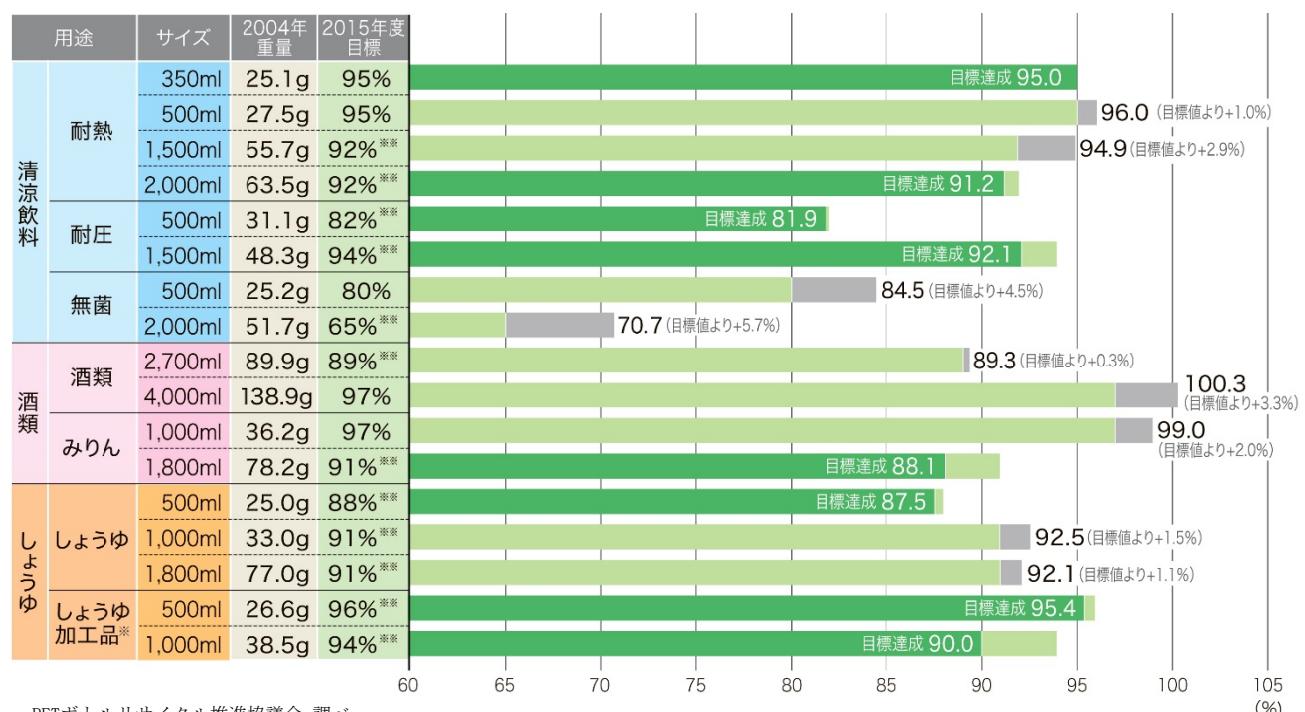


2. PETボトルリサイクル推進協議会

■リデュースへの取り組み成果 2013年度軽量化 14.1%

2013年度のボトル軽量化は、主要17品種ごとに目標値を設定した中での8容器で、修正後の目標を達成する大きな成果が得られました。特に、清涼飲料の耐熱350ml・2,000ml、耐圧500ml・1,500ml、酒類のみりん1,800ml、しょうゆ500ml、しょうゆ加工品500ml・1,000mlと軽量化が顕著でした。さらに、指定PETボトル全体では、販売ボトル種・数量増減などの効果で、2013年度は、削減効果量で93千トン、軽量化率14.1%を達成しました。



PETボトルリサイクル推進協議会 調べ

* ショウゆ加工品の容器基準重量は、2008年重量とした。(第2次自主行動計画で軽量化目標値を設定)

** 2014年3月一部目標変更

サイズ・用途別PETボトル軽量化目標と実績（2013年度）

PETボトル軽量化事例



キッコーマン飲料株式会社
デルモンテ食塩無添加
トマトジュース900ml PETボトル
ボトル重量36g
(従来品43g)



サンタリー食品インターナショナル株式会社
サンタリー天然水550ml PETボトル
ボトル重量11.3g
(従来品13.5g)



合同酒精株式会社
調味料1.8L PETボトル
ボトル重量58.0g
(従来品65.5g)



ヤマサ醤油株式会社
つゆ用500ml PETボトル
ボトル重量24g
(従来品28g)

2013年度実績と第二次自主行動計画目標

			基準年 2004年度	第1次目標年 2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	第2次目標年 2015年度
目標	軽量化率	%		-3%	-10% (修正前 2015年度目標)		-15% (修正後)	
目標/実績 からの 指標	軽量化率	%		-8.2	-10.5	-13.0	-14.1	
	軽量化量	千トン		52	69	85	93	
	累積軽量化量	千トン		178 (* 対04年度)	246 (* 対04年度)	331 (* 対04年度)	424 (* 対04年度)	
	1本当平均重量	g/本	33.30	29.21 -12%	28.87 -13%	27.84 -16%	26.90 -19%	
	容量当平均重量	g/500ml	22.62	20.87 -8%	19.85 -12%	19.43 -14%	19.16 -15%	
	1本当平均容量	ml/本	737	700 -5%	727 -1%	716 -3%	702 -5%	

* 軽量化率は、当該年度のボトル構成を基準年と同一と仮定して計算するため、ボトルの単位平均重量の削減率とは一致しません。

** 累積軽量化効果量は2005年度から積算。

■高度な水平リサイクル ボトルtoボトル(B to B)への取り組み

●メカニカルリサイクルB to Bが伸長

汚染除去能力を始め高度な技術を必要とする B to B は、2004年にケミカルリサイクルによって実現され、2011年には日本の高度な分別排出、分別収集を背景としメカニカルリサイクルによる方法が開始されました。

2013年度はメカニカルリサイクルが大きく伸長して使用済みPETボトルの水平リサイクル推進に寄与し、B to B製品は、日本の調査確認済み再生PET樹脂使用製品における割合が、17.5%を占めるまでに高まりました。今後もさらに発展することが期待されます。

2013年度 B to Bリサイクル 40.3千トン (対前年度比 49%増)

内メカニカルリサイクルB to B 21.6千トン (対前年度比 127%増)



PETボトルからPETボトルへの再生（B to B）の取り組み

■リサイクルへの取り組み成果 2013年度リサイクル率85.8%を達成

●使用済みPETボトル回収量調査について

使用済みPETボトルの回収量調査は、回収ルートの多様化により、2009年、2010年と事業系調査の捕捉精度が低下しました。

そこで昨年度に続き、事業系回収量の把握率アップをめざし、廃プラスチック中間処理業者に加え、プラスチックリサイクル事業者への調査ヒアリングを強化しました。結果、PETボトル取り扱いの可能性のある事業者127社を積み上げ、新規にアンケート調査することができました。

国内再資源化と海外再資源化



■国内具体的製品カテゴリー別 再生フレーク使用量調査を実施

PETボトルが、国内にて具体的に何にどれ位の量がリサイクルされているのかという疑問に答えるべく、2008年度より繊維やシートといった用途からさらに具体的な製品カテゴリーに分けて調査を行っています。

2013年度具体的製品例と使用量(調査結果)

(単位:千トン)

製品例	使用量	構成比
P メカニカルリサイクルによる指定PETボトル (清涼飲料)	21.6	
E ケミカルリサイクルによる指定PETボトル (清涼飲料)	18.7	
T ボトル	40.3	17.5%
シート	88.7	38.5%
自動車・鉄道関連(天井材や床材など内装材、吸音材)	34.7	
衣類(ユニフォーム、スポーツウェアなど)	18.1	
インテリア・寝具(カーペット類、カーテン、布団など)	17.5	
繊維	9.8	
土木・建築資材(遮水・防草・吸音シートなど)	6.0	
家庭用品(水切り袋、ワイパーなど)	3.2	
一般資材(テント、のぼり、防球ネットなど)	1.1	
身の回り品(エプロン、帽子、ネクタイ、作業手袋など)	2.6	
その他(糸、不織布など)	93.1	40.4%
他	0.2	0.1%
合計	230.6	100%



自動車内装材（自動車関連）



防草シート（土木資材）



カーペット（インテリア）

■広報活動の推進～啓発ツールの提供

PETボトル再利用品は、繊維製品、文房具、化粧品ケース、自動車用カーペットマット、ラミネート包材、特殊合成紙等に広く使用されています。これらを「PETボトル再利用カタログ」にまとめ、紹介しています。

最新の3R活動情報を紹介するために、広報誌「RING」を発行しています。2013年度Vol.32では、特集記事で常葉大学社会環境学部教授の杉山涼子氏と「PETボトルリサイクルの現状と課題」についての対談を紹介しております。



「PETボトル再利用品カタログ」2013年版 Vol.13



広報誌「RING Vol.32」

●PETボトル3R改善事例集Ⅱの作成

会員団体構成各企業のたゆまぬ努力を広く社会の皆様へお知らせするため、推進協議会では環境配慮設計の実施として軽量化を中心とした成果を2010年に「3R改善事例集」としてまとめました。2014年度に2010年度版以降直近までの事例について「3R改善事例集Ⅱ」として53件を掲載し、発行しました。

